

土曜講座 「西洋美術史 画家研究の現在」(全2回)

第1回 2024年11月16日(土) 14:30-16:30(開場14:00)

プッサン——研究の過去と現在

栗田秀法(跡見学園女子大学文学部教授) + 望月典子(慶應義塾大学文学部教授)
オブザーバー 木村三郎(日本大学研究員 元日本大学芸術学部教授)

第2回 2024年12月7日(土) 14:00-16:00(開場13:30)

カラヴァッジョ——研究の現在と「マタイ問題」

石鍋真澄(成城大学文芸学部名誉教授) + 宮下規久朗(神戸大学大学院人文学研究科教授)

西洋の画家研究の最先端を主題とする講座です。今回は17世紀バロックの時代のふたりの巨匠、フランスのニコラ・プッサンとイタリアのミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョを取りあげ、それぞれの作家を代表する研究者をお招きしてご講義いただきます。



ニコラ・プッサン《アルカディアの羊飼いたち》1638年頃 ルーヴル美術館蔵
© 2011 Grand Palais Rmn (musée du Louvre) / Stéphane Maréchal
<https://collections.louvre.fr/ark:/53355/cl010062528>

■ 場所: アーティゾン美術館 3階レクチャールーム

■ 定員: 80人(事前予約制・先着順) *定員に達し次第、受付終了

■ 聴講料: 無料

*レクチャールームは無料エリアのため、展覧会をご覧にならなくても受講可能です。

*同日、土曜講座を受講された上で展示をご覧になる方は③14:00-15:30以外の時間をご指定ください。

■ 申込み受付開始: 10月22日(火) 10:30

■ 申込み: アーティゾン美術館ホームページから

<https://www.artizon.museum/program/detail/1>



*当日、体調の悪い方、発熱や咳き込み等の症状のある方はご参加いただけません。

*諸般の事情により、プログラムを中止することがあります。



カラヴァッジョ《聖マタイの召命》1599-1600年
ローマ、サン・ルイーゼ・デイ・フランチェージ聖堂

アーティゾン美術館 〒104-0031東京都中央区京橋1-7-2 www.artizon.museum

JR東京駅(八重洲中央口)、東京メトロ銀座線・京橋駅(6番、7番出口)、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅(B1出口)から徒歩5分